

善
光
寺
便
り

成田大航君華燭の典を挙ぐ



善光寺徒弟成田大航君は、兩大本山の修行を了え、瑞世拜登を済ませた途端、福知山市土師の円覚寺住職に迎えられ、同寺法類円浄寺住職塩見老師の法を嗣ぎ、四月十七日、円覚寺本尊真前において、茅野順子さんとの結婚式を挙げられた。戒師は円覚寺法類の長老である長円寺方丈大槻老師、媒酌人は黒田方丈夫妻。披露宴はホテル万助でおこなわれ、その席上住職辞令が伝配された。まことにグットタイミング。二重のよろこびだった。主賓の佐藤俊明老師は、祝辞を述べ、最後を漢詩で結んだ。

祝 辞

大航さん、順子さん、おめでとう。

また、御両家、そして法類の御寺院、お檀家の皆様方のおよろこびは如何ばかりか、心からお祝い申し上げます。

私は、大航さんとは七、八年前から、順子さんとは三年ほど前から面識がございまして、お二人をそれとなく観察してまいりましたが、これはまことに似合いのカップルというか、いや、仏縁でなくては結ばれることのできないご夫婦と確信しております。それが証拠には、お二人には、結婚と同時にお寺が授かりました。大航さんにはお寺のご住職、順子さんは寺族とされるのです。これは、ほかの方々の結婚とちがって、二重の歓びであります。それだけに、「世界は二人の為に」とい

った風のお二人だけの幸せを考えればいいといったものではなく、「一人は世界の為に」仏さまのお心を心として世の為、人の為に尽くす生活を築き上げなくてはならないのであります。そしてそれは、お二人には必ずできると、私は確信しております。

と申しますのは、大航さんは横浜善光寺で、黒田方丈様のきびしい指導に耐え、黒田方丈様のケタはずれの素晴らしい寺院経営、布教活動を学ばれ、アメリカに留学して外人たちと共に坐禅にはげみ、また曹洞宗ポランティア会現地のコーディネーターとしてタイ国での難民キャンプに入っ、私の慈悲のお取次ぎに精進し、ワットパクナムにおいて修行し、最

後に両本山に安居して修行のみがき上げをされたのであります。一方、順子さんは、宗務庁にお勤めになり、寺院経営を広い視野から眺めると共に、日曜日には時折善光寺さんに奉仕して、檀務に伴う裏方の仕事を實地に学んでまいりました。こうしたお二人のこれまでのご精進はお二人をどれだけ大きく支え、どれだけ力強くはげますことでありましょう。どうか今後は御本師塩見老師はじめ、法類、教区の諸老師の御指導をいただき、正しい寺院経営の在り方を身につけ、御檀家の皆様の御期待にこたえてくださるようお願いいたします。私は、本日のこの盛典を祝して、お二人に次のような漢詩を賦してお贈りしました。

春入京師上福宮：京師とはご承知のように京の都のことですが、京都府福知山市土師は正に京都というにふさわしいのであります。禅宮とは禅寺のことですから、春、京師に來たつて禅寺に入るといのであります。

大航一路趨順風：大航とは大きな船のことであり、ここに新郎新婦のお名前を入れ、大航さんは順風にのつて、一路船旅に出発するといのであります。

洋々万里天弥爽：前の句に一路とありましたので、ここで万里と出して、お二人にとっては前途洋々、万里の船旅ですが、さいわいにして、天はいよいよ爽かにお二人を見護つてくださいます。そしてその幸せは

お二人だけのことではなく、

妙智山頭歳華豊：妙智山というのは
円覚寺の山号ですから、つまり円
覚寺のことです。歳華とは、
としつきのことであり、また春の景
色の意味もありますので、本日のこ
の素晴らしい風光のように円覚寺の今
後は豊かな歳月に恵まれるでありま
しょうというのであります。

春入京師上禅宮

大航一路趣順風

洋々万里天弥爽

妙智山頭歳華豊

ご両家の皆様方、お檀家の皆様方、
ほんとうにおめでとうございます。

春 夏 秋 冬

◆拝啓、桜の花が綻び山々の淡色に
一層はえ、快い候となりました。

さて十八日の朝全福寺の住職殿より
すてきな絵皿を頂戴し唯々吃驚する
ばかりでございました。急ぎ玄関に
飾らせて頂き来訪する方々に話して
おります。婦志子は、私の母で大月
から参りました人達の為に御多忙の
処たいへん厄介になりその御礼も出
来ないまゝ、このようなすばらしい御
品を頂けるとは、夢にも思いません
でした。一月に届けて頂きました本
の印象が脳裏にやきつき住職の凄
バイタリティーと行動には、活字の
中に吸い込まれていき感動すること
と頷くことばかりでございました。
只、方丈様のお人柄の良さとすばら
しい人達に巡り合えたことは、本当

に宜かったし、倅せであつたと…、
日頃の行動が目には浮かびます。私な
ど一步も近づけず、願うことばかり
でございます。努力する気持はいつ
もございますし、そのようになりた
いと考え乍ら感銘をうけた文章とま
だお会いしてませんが本のお写真よ
り拝見させて頂きました住職様と奥
様を思い出すのです。お会いする日
をととても楽しみにしております。こ
れも全福寺の住職と奥様のお陰と感
謝しているのです。

この肌襦袢は、仕事の合間に奥様
にと縫わさせて頂きました。(和裁
の仕立をし週二回出がいこで教えて
います)私の出来ることは、この程
度で何の御返しも出来ず恥ずかしい
のですが着やすく、お洗濯してもほ

つれないように一針一針縫いました
が、お気に召して頂ければ嬉しゅう
ございます。

乱文になりましたが礼状方失礼致
します。

主人、母が呉々もよろしくとのこ
とでございます。

本当にありがとうございます、
大切に飾らして頂きます。

かしこ

高山 婦志子

さつき

◆つめたい風は吹きましても、青空
の美しさに心を洗われるような日が
続きます。先だつての父の葬儀には
大変お世話になりありがとうございます
ました。私どもは悲しみの中にも、

先生のようなご住職様にめぐまれた

ことを、感謝し、幸福に思つており
ます。また昨日は、母と姉がおじや
まを致しました。おかげさまで、戒
名も立派になり、「ちゃんとするこ

と」が好きだつた父も、さぞ喜んで
いることでしょう。その上、すてき

なおみやげまで頂戴いたしました、
ただただ感謝でございます。母の話
では、善光寺はたいそうすばらしい
お寺でしたとのこと、私もぜひうか
がわせていただきたいと思ひます。
お風邪をお召しと聞きました、やは

り頭がお寒いのではないでしょうか
(?)

どうぞ御大切になさつて下さいま
せ。私も一昨日から仕事に戻りまし
たが、仕事とはありがたいものです

ね。同僚のやさしい言葉が身にしみ
ます。

それでは、きょうはこの辺で失礼
させていただきます。ほんとうにあ
りがとうございました。

鶴我 裕子

◆いつも御指導頂き有難う存じます。
二月十三日午後私は伊勢佐木町を地
下鉄駅の方に歩いていました。少し
はなれたところを通り過ぎられた黒
田大圓師様に気づきました。洋服の
お姿でしたが、ご挨拶申し上げるの
も気がひけました。平常の精進のお
心がにじみ出ている様な並の人でな
いお姿でした。あとを見送り思わず
手を合せました。

通りすぎし師を見送りにて洋服の
うしろで尊くしばしをうがむ

山東 とも

◆拜啓余寒御見舞申上げます。この

間タイにゆきました。上座部寺院ではトをやるし、竹のおみくじはあるし、船の進水式のおはらいもやっています。日本の仏壇に匹敵する庭におく小祠M a M o m (神の像)も沢山あります。雀や魚の放生池もあります。

こういう大衆的实践が殆んど日本に紹介されていないのは残念です。どうか貴寺の海外留学生に庶民の生活に浸透した実態調査をやって頂きたいのです。バスや船くらいはタダでしょうがその限界も知りたいもの

です。タイは仏教国と云ってまかなりヒンドウ教が浸透しています。

最近前田先生を中心にスリランカ仏教の研究の本が出るようです。

「現代スリランカ仏教」山喜房刊

御法愛を頂きました曹洞宗実践叢書十巻が三月には完結します。

坂内 龍雄

◆前略 余寒のきびしい毎日ですが

又一雨欲しい此の頃で御座います。

節分会は御盛大だったこと、お慶び申し上げます。

御多忙にもかかわらず早速に、お礼や福マス、又領収書を送って頂き、四日に到着致しました。

誠に有難う御座いました。

美也子のお礼は良縁祈願となつて居

りまして、そのお心遣のほど大変嬉しゅう御座いました。

私共も良い方にめぐり会えます様に念じて居ります。

皆様にはくれぐれも御大切に遊ばされます様にお礼のみにて失礼致します。

岩崎 博

■前略 先日は成寿第四巻お送り下

さいまして、まことにありがとうございます。早速相誦しましたがワツ

ト・パクナムご訪問の写真並びに田中、梅田両留学僧のレポートなど大変なつかしく読ませていただきました。前号といい今号といい、生きている仏教の世界が語られていて躍動せるユニークな時報に心温まる思い

をしました。遅れ馳せながら、お礼のことばといたします。

合掌

佐々木 教悟

■謹啓 この程は成寿六十一年春季号御恵送下さいましたのしく拝見させて頂きました。

尊董山主様の御熱情あふる、ご強化力には私も鶴見の本山時代から深く傾倒いたしましたし、その頃雲衲のタイ留学に大変お世話になったことを心に銘じております。昨年から宗議に選出されて、老木誠に恥しい次第ですが、激動流転のはげしい社会情勢の中でいつも宗門行政に霧海羅針の光明を求めてやみません。色々と又おしえて下さい。但馬は雪

漫々春はまだまだ遠いです。どうか呉々も御法体ご自愛祈念申し上げます。

敬具

多田 俊洞

編集部より

前号より巻末にハガキを綴じ込みましたが、たくさんのお便りを頂戴いたしましてありがとうございます。早速掲載させて頂きました。早速掲載させてくださいました。

今後、俳句、和歌、エッセイ、その他『成寿』へのご希望やご批評など、お気づきになられた事を、どしどしお寄せください。お待ちしております!!

ご寄附御礼

左の方々より寄附を頂戴いたしました。誌上より厚く御礼を申し上げます。

◇海外留学僧派遣育英会

港南区 瀬之間政勝様 五十万円

岩井 月雄様 一万円

鶴我 裕子様 三万円

◇『成寿』賛助

東京都 石川 良暁様 一万円

大乗寺 板橋 興宗様 三万円

定光寺 大道 晃仙様 三万円

ありがとうございました。